

第4章 建設候補地

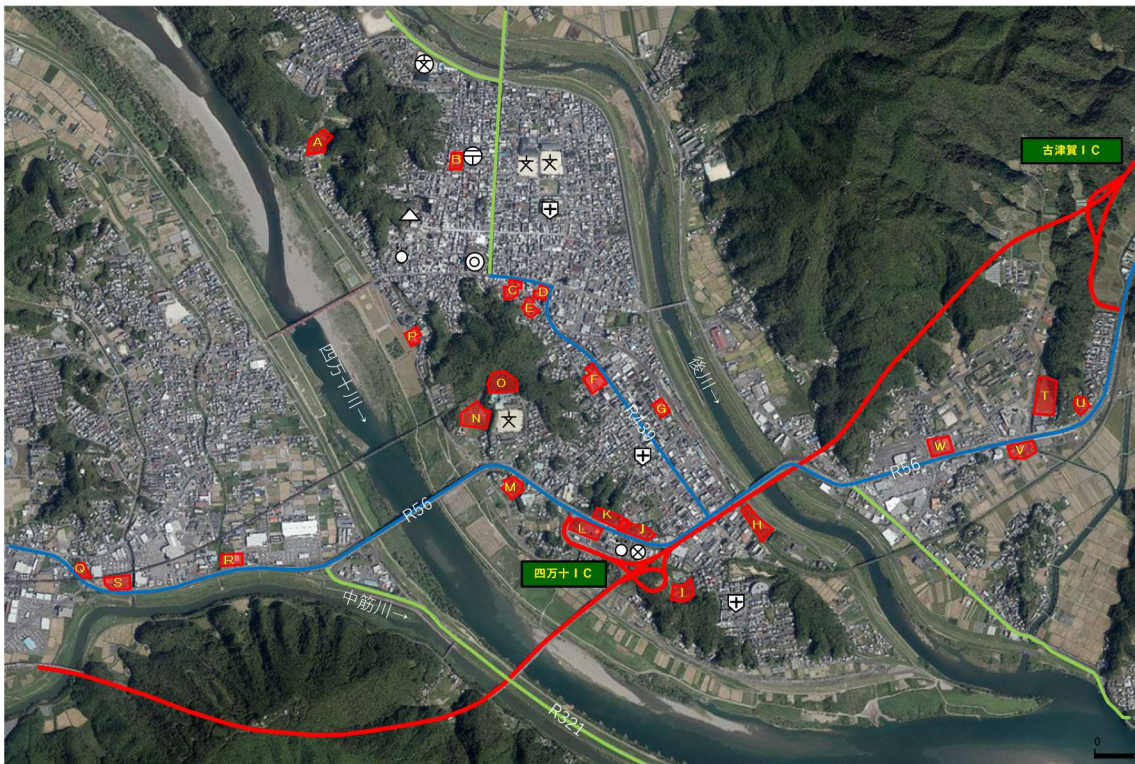
1. 建設候補地の抽出

実際の活用にあたっては、地権者との交渉や関係法令上の整理・調整が前提となってくるが、新庁舎の候補地については、あらゆる可能性を考慮し市有地、民有地に限らず抽出する。

市関係課と四万十消防署で組織する四万十消防署新消防庁舎整備検討プロジェクトチームが作成した「四万十消防署新消防庁舎整備について（令和3年3月）」成果では、はじめに中村地区、東山地区、具同地区を中心に19箇所の候補地が抽出されている。これは、中心市街地や近隣市街地に新庁舎を配置することで、緊急出動や大規模災害発生時に迅速な活動が可能となるよう、幹線道路へのアクセス性等を考慮したもの。

そこで、本計画における候補地の抽出方法は、「一団の敷地として一定の面積を有する」候補地として、この19箇所を再検証するとともに、周辺調査で得た他の候補地を追加して23箇所を抽出した。

【候補地の抽出：位置図（23箇所A～W）】



【候補地の抽出：一覧（23箇所A～W）】

記号	候補地	敷地面積
A	百笑排水機場隣接地	6,300 m ²
B	文化センター跡地	2,300 m ²
C	パーラー平和大橋通店敷地	6,200 m ²
D	ファミリーマート大橋通店敷地	2,300 m ²
E	パーラー平和大橋通店専用駐車場	2,600 m ²
F	アピアさつき敷地	7,300 m ²
G	J A 高知はた職員専用駐車場	2,000 m ²
H	下水処理場未利用地	11,600 m ²
I	泉建設工業隣接地	8,300 m ²
J	国土交通省前敷地 ①	7,100 m ²
K	国土交通省前敷地 ②	7,750 m ²
L	丸亀製麺ほか敷地	7,400 m ²
M	中村幼稚園跡地	4,700 m ²
N	中村南小学校隣接地 ①	9,800 m ²
O	中村南小学校隣接地 ②	7,200 m ²
P	もみじ保育園跡地	5,000 m ²
Q	カーセブソン跡地	3,600 m ²
R	明屋書店四万十店	5,600 m ²
S	パチコ21駐車場ほか	7,000 m ²
T	古津賀ゴルフクラブ敷地	11,330 m ²
U	中村国道出張所隣地	3,300 m ²
V	中村古津賀郵便局隣接地	13,000 m ²
W	ザ・ダイソー中村古津賀店ほか	9,800 m ²

※1：洪水浸水想定区域においては嵩上げによる対策を前提

※2：抽出時における各地権者との調整は皆無（最終候補地の選定時に調整予定）

2. 建設候補地の選定

選定方法については、次のプロセスに基づき第1次～第4次までの評価基準を設定した上で、スクリーニングし最終候補地を選定する。

なお、各スクリーニング結果については、その都度、四万十消防署移転整備検討委員会に諮るものとする。

(1) 建設候補地の選定プロセス

第1次スクリーニング 敷地面積	抽出した23箇所から「第3章 建設に係る方針と機能」をもとに各施設を配置できる「敷地面積」を条件として第1次スクリーニングを行う。 23箇所→15箇所程度
第2次スクリーニング 幹線道路へのアクセス性/ 他施設との連携ほか	第1次スクリーニング結果から、四万十IC、幹線道路（R56など）の「アクセス性」や既存の「市施設、国・県出先事務所等との連携」、また「特に迅速な延焼防止活動が求められる地区」を考慮して第2次スクリーニングを行う。 15箇所程度→10箇所程度
第3次スクリーニング 災害リスク/周辺環境	第2次スクリーニング結果から、洪水、地震・津波、土砂災害などの「災害リスクを想定」とともに、「周辺環境」を勘案して第3次スクリーニングを行う。 10箇所程度→5箇所程度
第4次スクリーニング 事業費比較/用地確保の 実現性/職員ヒアリング	第3次スクリーニング結果から「用地・補償費、造成費、建築費などの費用」及び「用地確保の実現性」、また、実際に業務（出勤）を行う「職員意見」を勘案して第4次スクリーニングを行う。 5箇所程度→1箇所(ランク付)
関係機関等と調整・協議 道路/河川/その他	最終建設候補地について、協議が必要な既存施設の各管理者と調整する。

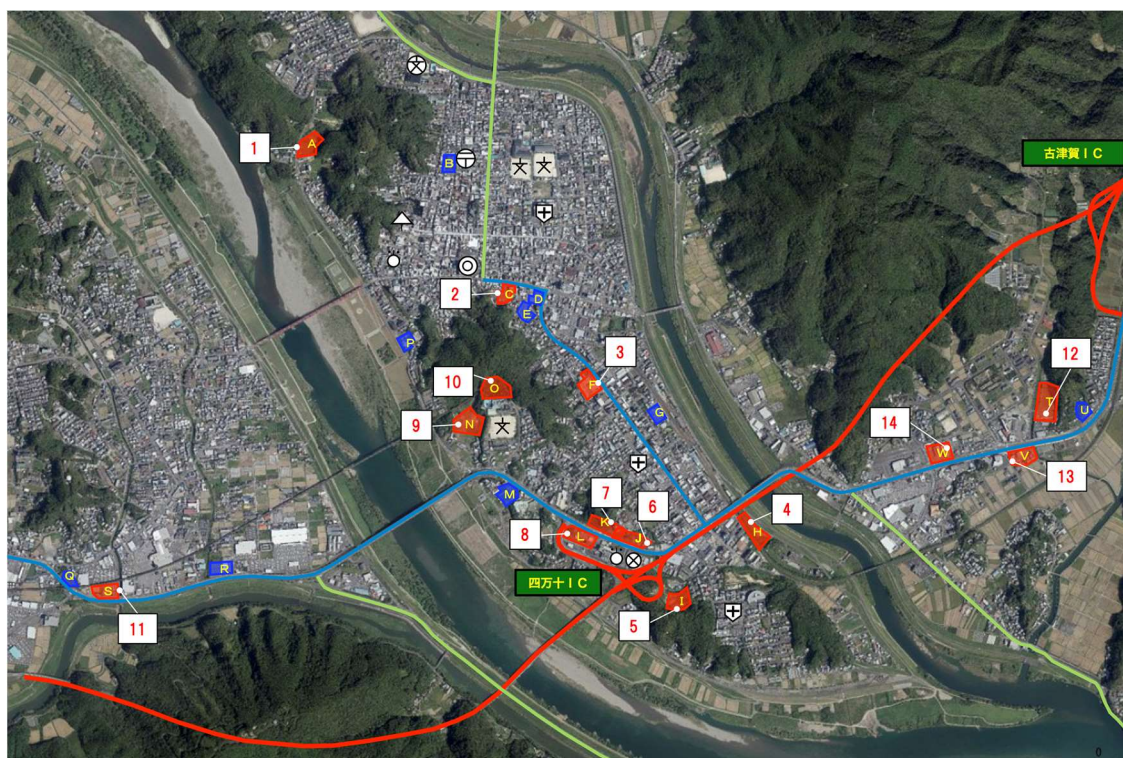
(2) 第1次スクリーニング(評価基準:敷地面積)

「第3章 建設に係る方針と機能」に基づき、各施設を配置できる「敷地面積」は7,000 m²以上の規模が必要となる。この評価基準により第1次スクリーニングを行った結果、14箇所の候補地が残った。

【評価基準：敷地面積7,000 m²以上の確保】

用途	面積(m ²)	内容	面積の根拠
A. 施設規模	5,000		
(1) 庁舎	1,000	RC3階建の建築面積	国土交通省の新営一般庁舎算定基準を参考とし、個有面積を加算
(2) 屋外訓練場	3,000	訓練塔を含む緊急消防支援の受入	日常の屋外訓練及び消防団の合同訓練(消防操法の基準)を試算し、隊員・車両の待機スペースを加算
(3) 駐車場	1,000	50台程度	国土交通省駐車場設計・施工基準：2.3m×5.0/台と車路6mを加算
B. 緊急消防支援受入規模	4,000	A(2)屋外訓練場と重複可	
(1) 車両	2,500	70台を想定	緊急消防援助隊広域活動拠点の標準モデル：36 m ² /台
(2) 人員	1,500	300名を想定	緊急消防援助隊広域活動拠点の標準モデル：2 m ² /人を基に感染症対策(離隔2m)及び各個資機材置場を加算5.0 m ² /人
C. 離発着場	1,600	A(3)駐車場と重複可	
(3) 離発着場	1,600	□40m×40m	航空法に定める防災対応型離発着場
合計(A+B+C)	10,600		
改め (重複可能面積除く)	7,000	A(2)屋外訓練場3,000 m ² A(3)駐車場の一部600 m ² 計3,600 m ² を除く	

【第1次スクリーニング結果：位置図】



【第1次スクリーニング結果：一覧】

記号	番号	候補地	造成	敷地面積	評価
A	1	百笑排水機場隣接地	現地盤/ 嵩上げ	6,300 m ² ※	○
B	-	文化センター跡地	-	2,300 m ²	-
C	2	パーラー平和大橋通店敷地	現地盤/ 嵩上げ	6,200 m ² ※	○
D	-	ファミリーマート大橋通店敷地	-	2,300 m ²	-
E	-	パーラー平和大橋通店専用駐車場	-	2,600 m ²	-
F	3	アピアさつき敷地	現地盤/ 嵩上げ	7,300 m ²	○
G	-	JA高知はた職員専用駐車場	-	2,000 m ²	-
H	4	下水処理場未利用地	嵩上げ	11,600 m ²	○
I	5	泉建設工業隣接地	切下げ	8,300 m ²	○
J	6	国土交通省前敷地①	嵩上げ	7,100 m ²	○
K	7	国土交通省前敷地②	切下げ/ 嵩上げ	7,750 m ²	○
L	8	丸亀製麺ほか敷地	現地盤/ 嵩上げ	7,400 m ²	○
M	-	中村幼稚園跡地	-	4,700 m ²	-
N	9	中村南小学校隣接地①	嵩上げ	9,800 m ²	○
O	10	中村南小学校隣接地②	現地盤/ 切下げ	7,200 m ²	○
P	-	もみじ保育園跡地	-	5,000 m ²	-
Q	-	カーセブン跡地	-	3,600 m ²	-
R	-	明屋書店四万十店	-	5,600 m ²	-
S	11	パチコ21駐車場ほか	現地盤	7,000 m ²	○
T	12	古津賀ゴルフクラブ敷地	嵩上げ	11,330 m ²	○
U	-	中村国道出張所隣地	-	3,300 m ²	-
V	13	中村古津賀郵便局隣接地	現地盤	13,000 m ²	○
W	14	ザ・ダイソー中村古津賀店ほか	現地盤	9,800 m ²	○

※6,000 m²～7,000 m²(1.2)は周辺敷地を追加することで面積が確保できる可能性あり(評価○)

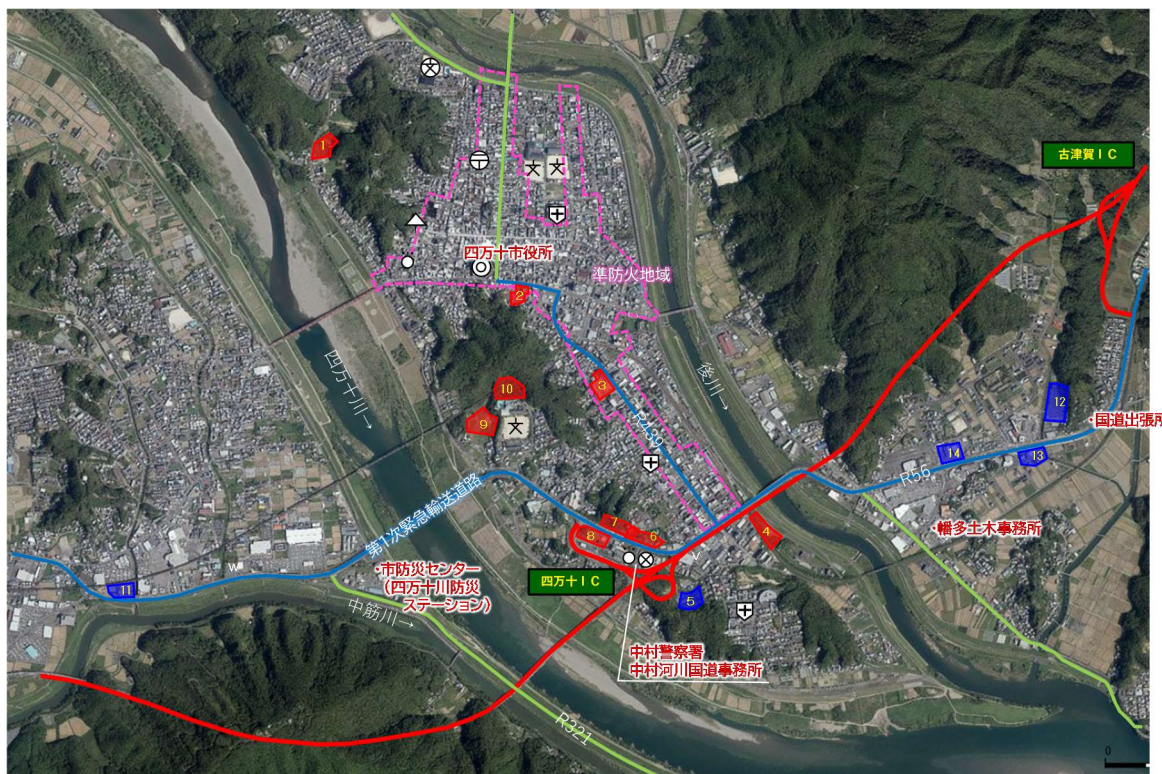
(3) 第2次スクリーニング(評価基準:幹線道路へのアクセス性/他施設との連携ほか)

第1次スクリーニング結果14箇所について、四万十IC、幹線道路(国道56号等)の「アクセス性」や既存の「市施設、国・県出先事務所等との連携」、また「特に迅速な延焼防止活動が求められる地区」を評価基準とし、第2次スクリーニングを行った結果、9箇所の候補地が残った。

【評価基準:アクセス性、他施設と連携、迅速な延焼防止活動】

基準の分類	評価する内容
ア ク セ ス 性	主要幹線道路へのスムーズな連絡は可能か ▶国道56号に直接連絡:○ ▶その他2車線の国道、県道、市道から連絡:△ ▶1車線の道路から連絡:×
他 施 設 と 連 携	市・国・県出先事務所などの防災関連施設と隣接し連携が可能か ▶災害時重要施設に近い:○ ▶やや離れている:△ ▶離れている:×
迅速な延焼防止活動	住家や事業所が密集し準防火地域である中村地区への迅速な延焼防止は可能か ▶特に迅速な延焼防止活動が求められる中村地区:○ ▶その他:×
総 合 評 価	上記分類のなかで全て○の場合:○ " △がある場合:△ " ×がある場合:× (不適格)

【第2次スクリーニング結果:位置図】



【第2次スクリーニング結果：一覧】

番号	候補地	幹線道路への アクセス性	他施設との連携	延焼防止 活動	総合 評価
1	百笑排水 機場隣接地	市道(W10m)～ 県道340号	△ 市役所、学校等とは 比較的近いが、他施 設とは離れている。	△ 中村 地区	○ △
2	パーラー平和 大橋通敷地	国道439号	△ 市役所に近接。その 他の施設からも中間 的な位置にある。	○ 中村 地区	○ △
3	アピアさつき 敷地	国道439号	△ 各施設から中間的な 位置にある。	○ 中村 地区	○ △
4	下水処理場 未利用地	国道56号	○ 災害時に特に連携が 必要な警察署、国事 務所と近い。	○ 中村 地区	○ ○
5	泉建設工業 隣接地	私道(W4m)～ 市道(W6m) 道路改良が必要 (住宅地のため困難)	× 災害時に特に連携が 必要な警察署、国事 務所と近い。	○ 中村 地区	○ ×
6	国土交通省前 敷地①	国道56号 (四万十IC近接)	○ 災害時に特に連携が 必要な警察署、国事 務所と近い。	○ 中村 地区	○ ○
7	国土交通省前 敷地②	国道56号 (四万十IC近接)	○ 災害時に特に連携が 必要な警察署、国事 務所と近い。	○ 中村 地区	○ ○
8	丸亀製麺ほか 敷地	国道56号	○ 災害時に特に連携が 必要な警察署、国事 務所と近い。	○ 中村 地区	○ ○
9	中村南小学校 隣接地①	新たな道路整備 が必要	△ 避難所となる中村小 学校に隣接。 他施設とはやや距離 がある。	△ 中村 地区	○ △
10	中村南小学校 隣接地②	市道(W12m)～ 国道56号	△ 避難所となる中村小 学校に隣接。 他施設とはやや距離 がある。	△ 中村 地区	○ △
11	パチコ21 駐車場ほか	国道56号	○ 他施設とは離れてい る。	× 具同 地区	× ×
12	古津賀ゴルフ クラブ敷地	国道56号	○ 幡多土木事務所、国 道出張所とは比較的 近いが、他施設とは 離れている。	△ 古津 賀地区	× ×
13	中村古津賀 郵便局隣接地	国道56号	○ 幡多土木事務所、国 道出張所とは比較的 近いが、他施設とは 離れている。	△ 古津 賀地区	× ×
14	ザ・ダイナー中村 古津賀店ほか	国道56号	○ 幡多土木事務所、国 道出張所とは比較的 近いが、他施設とは 離れている。	△ 古津 賀地区	× ×

(4) 第3次スクリーニング(評価基準:災害リスク/周辺環境)

第2次スクリーニング結果9箇所について、洪水、地震・津波、土砂災害などの「災害リスクを想定」するとともに、「周辺環境」を評価基準とし、第3次スクリーニングを行った結果、6箇所の候補地が残った。

【評価基準：災害リスク】

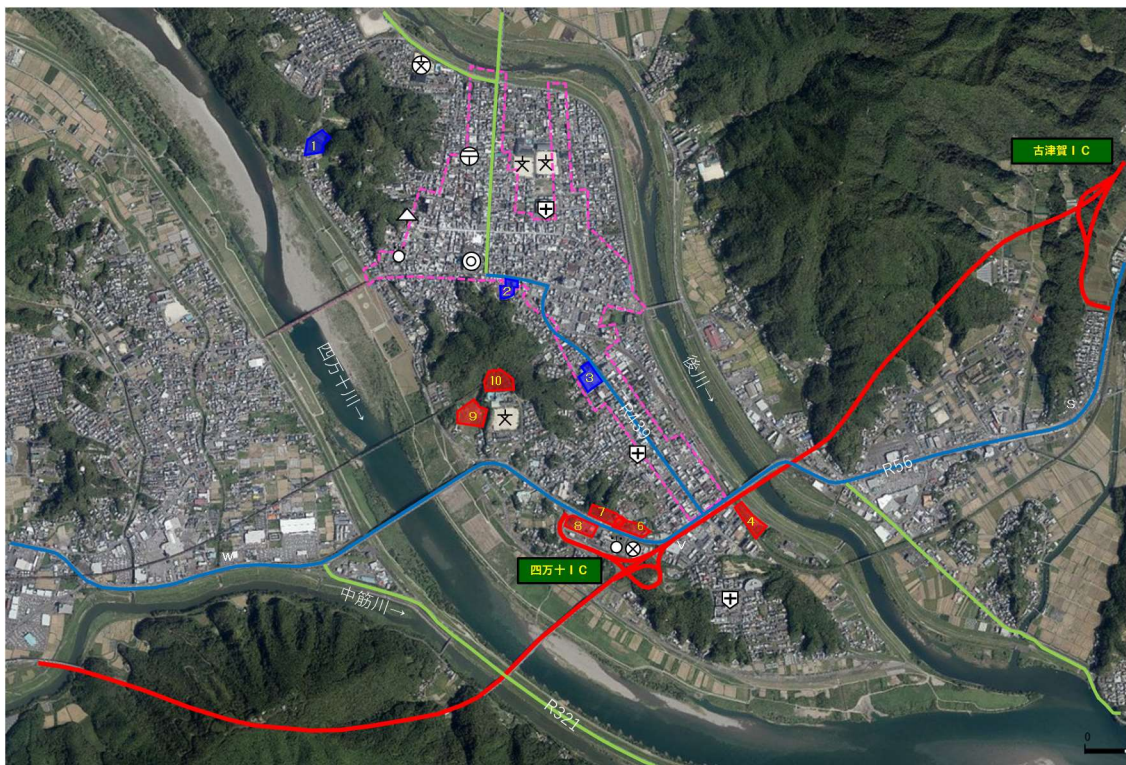
起因	種別	評価
風水害	洪水	想定最大規模(1/1,000)の降雨による浸水 ※四万十川、後川、中筋川が破堤した際の最大浸水深 ▶被害想定/浸水深: 被害なし○、被害有/対策可○、被害有/対策困難×
	土砂	土砂災害防止に基づく基礎調査結果(土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域)※高5m以上、傾斜30°以上 ▶被害想定/区域種別: 被害なし○、被害有/対策可○、被害有/対策困難×
	暴風	- ▶評価しない
地震災害	揺れ	最大クラス(マグニチュード9.0)想定※河口部で最大震度7 ▶最大震度:構造計算による安全確保○
	津波	最大クラス(マグニチュード9.1)想定※河口部で最大津波高22m ▶被害想定/浸水深: 被害なし○、被害有/対策可○、被害有/対策困難×
	土砂	- ▶評価しない
	液状化	最大クラス(マグニチュード9.0)想定 ▶被害想定: 被害なし○、被害有/対策可○、被害有/対策困難×
火山	-	- ▶評価しない
大雪	-	- ▶評価しない



【評価基準：周辺環境】

種別	評価
接続道路	災害リスクの想定 ▶被害想定： 被害なし○、被害有/容易に対策可○、 被害有/容易ではないが対策可△、被害有/対策困難×
通学	児童・生徒の通学の安全を確保できるか ▶主要な通学路の可否： 主要な通学路ではない○、主要な通学路△
上水道	接続可能な管路はあるか ▶接続可能な水道管： φ75mm以上に接続可○、φ75mm以上に接続不可×
下水道	接続可能な管路はあるか ▶接続可能な下水道管： 接続可○、接続不可（浄化槽）△
騒音	緊急出動等のサイレン音が支障にならないか ▶住宅等の状況： 比較的少ない○、住宅等が多い△
日影・通風	新庁舎の建物が周辺に影響しないか ▶住宅等の状況： 影響なし○、影響あり△
総合評価	災害リスクと周辺環境のなかで全て○の場合：○ " △がある場合：△ " ×がある場合：×（不適格）

【第3次スクリーニング結果：位置図】

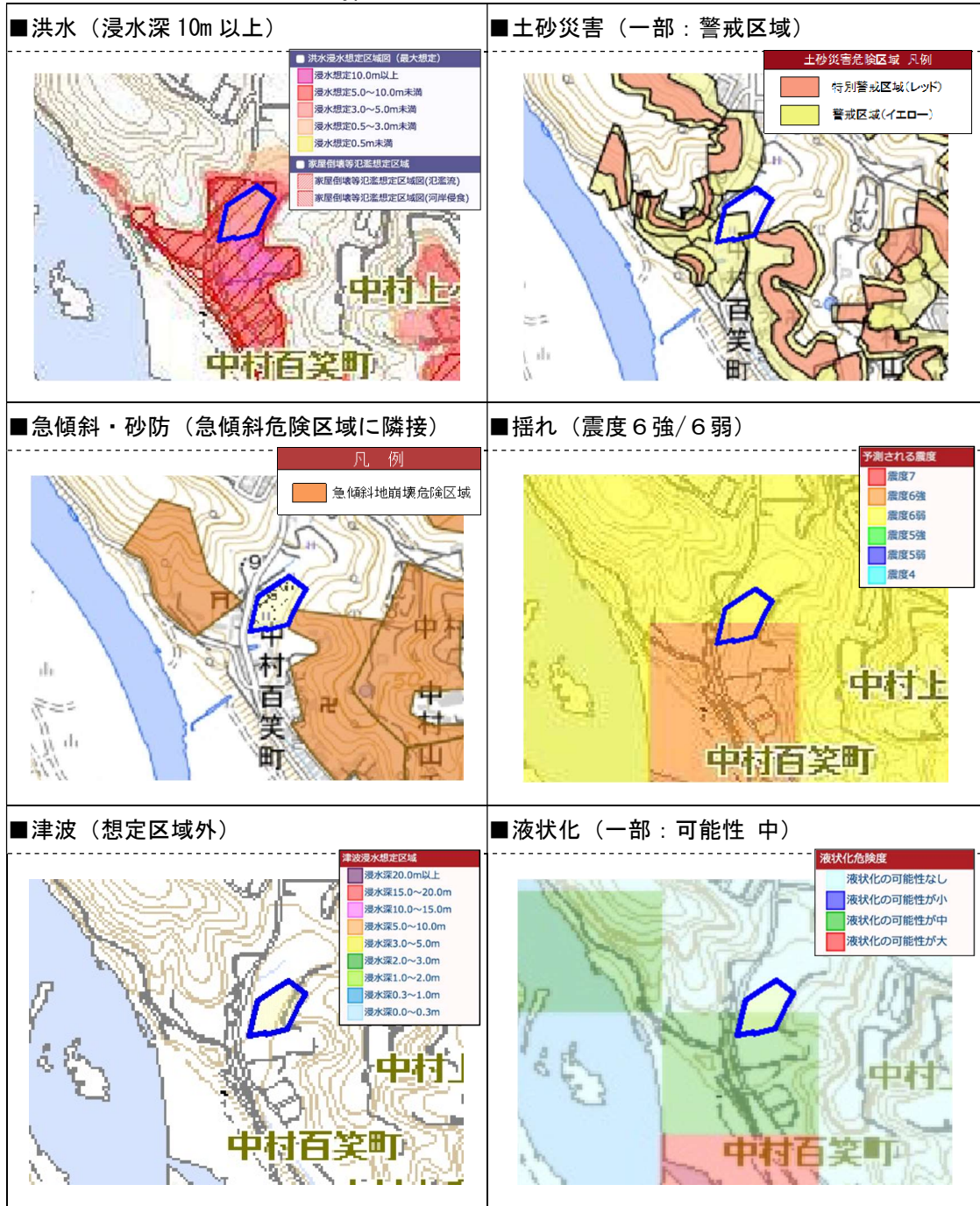


【第3次スクリーニング結果：一覧】

番号	候補地	敷地面積(m ²)	第3次スクリーニング			(参考)関連法規				
			災害リスク／対策	周辺環境等	総合評価	都市計画法 開発協議	農地法	（急傾斜／砂防／地すり） 砂防関連法	騒音規制	文化財保護法
1	百笑排水機場隣接地	6,300※	○	×	×	○	-	-	-	○
2	パーラー平和大橋通店敷地	6,200※	×	×	×	○	-	○	-	-
3	アピアさつき敷地	7,300	×	×	×	○	-	-	-	-
4	下水処理場未利用地	11,600	○	○	○	○	-	-	-	-
6	国土交通省前敷地①	7,100	○	○	○	○	-	-	-	-
7	国土交通省前敷地②	7,750	○	○	○	○	-	-	-	-
8	丸亀製麺ほか敷地	7,400	○	○	○	○	-	-	-	-
9	中村南小学校隣接地①	9,800	○	△	△	○	○	-	-	-
10	中村南小学校隣接地②	7,200	○	△	△	○	-	-	-	-
備考		※1,2…用地追加取得等で7千m ² 以上の面積確保が可能				開発協議が必要…○	農地転用許可申請が必要…○	指定地域内の制限行為による許可申請が必要…○	消防署…規制対象外	掘削等の届出が必要…○

1) 百笑排水機場隣接地 (中村百笑町 A=6,300 m²※) ※用地追加取得で面積拡大可能

【標高約7m：現地盤/嵩上げ Type】

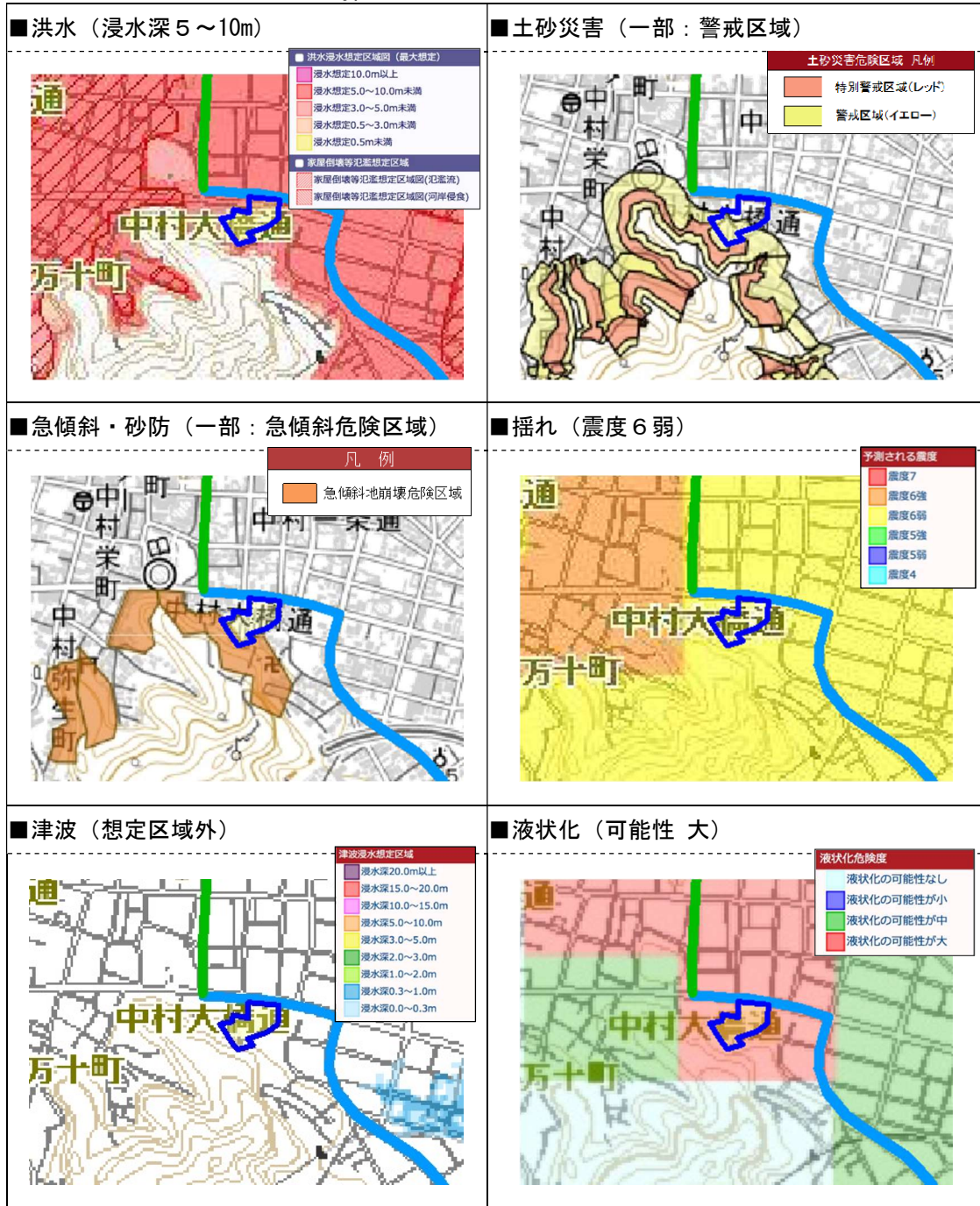


【評価】

起因	種別	災害リスク/対策				周辺環境等		
		被害想定	想定内容	対策	対策内容	種別	内容	評価
風水害	洪水	有	最大深10m以上	○	嵩上盛土で解消	接続道路	洪水浸水の対策困難	×
	土砂	有(一部)	警戒区域(イエロー)	○	擁壁、法枠等で解消	通学路	主要な通学路ではない	○
	急傾斜・砂防	—	※急傾斜危険区域隣接	—	※対策検討	上水道	接続可(H1VP φ100)	○
地震災害	揺れ	有	最大震度6強/6弱	○	構造計算による安全性確保	下水道	接続不可(浄化槽)	△
	津波	—	—	—	—	騒音	住宅が比較的少ない	○
	液状化	有(一部)	可能性(中)	○	盛土による沈下量低減	日影・通風	影響なし	○
評価								○
								×

2) パーラー平和大橋通敷地 (中村大橋通 A=6, 200 m²※) ※用地追加取得・家屋追加補償で面積拡大可能

【標高約7m：現地盤/嵩上げType】

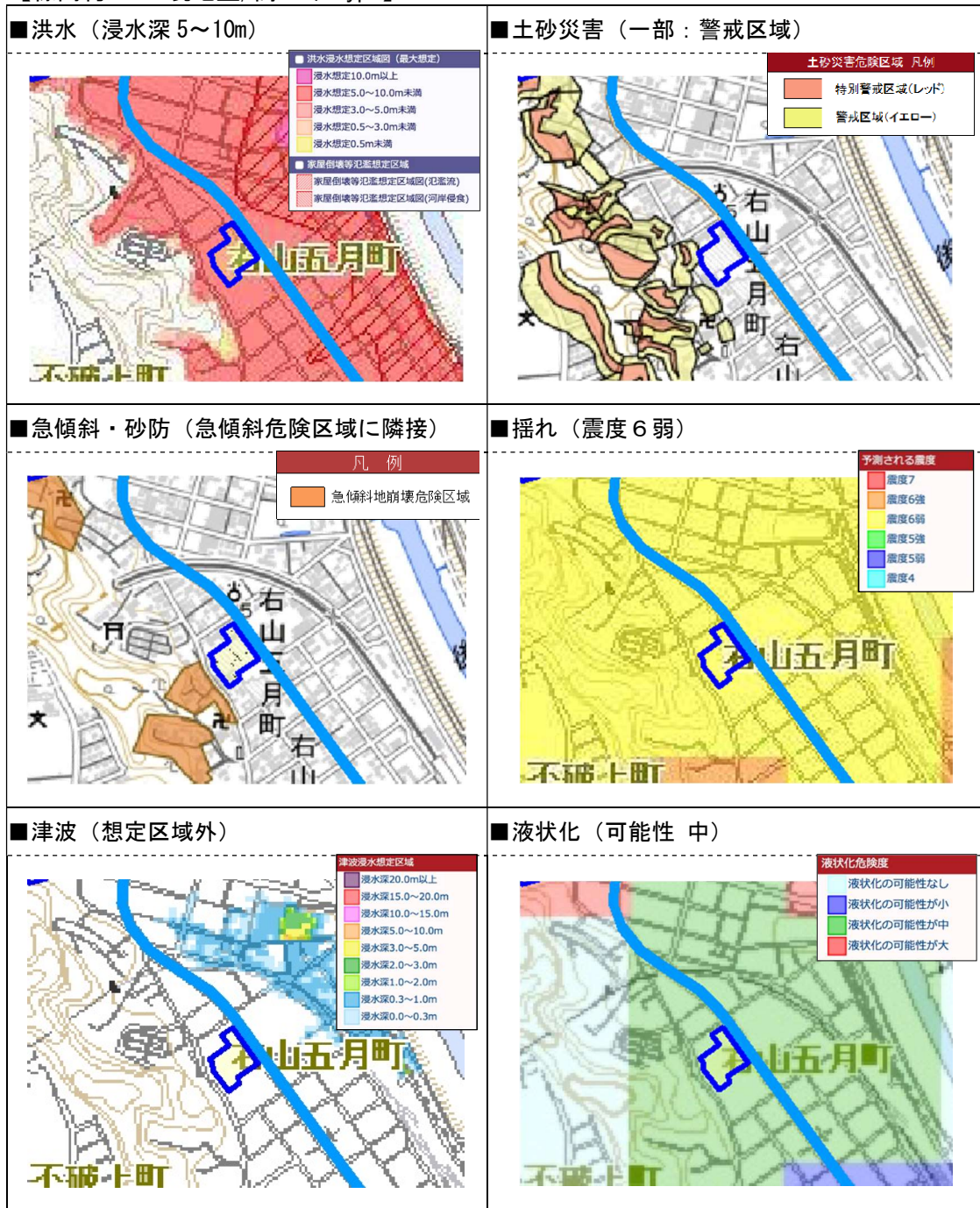


【評価】

起因	種別	災害リスク/対策			周辺環境等		
		被害想定	想定内容	対策	種別	内容	評価
風水害	洪水	有	浸水深5~10m	×	土地利用から嵩上困難	接続道路 洪水浸水の対策困難	×
	土砂	有(一部)	警戒区域(イエロー)	○	擁壁、法枠等で解消	通学路 主要な通学路ではない	○
	急傾斜・砂防	有(一部)	急傾斜危険区域	○	擁壁、法枠等で解消	上水道 接続可(DCIPφ100)	○
地震災害	揺れ	有	最大震度6弱	○	構造計算による安全性確保	下水道 接続可	○
	津波	—	—	—	—	騒音 事業所・住宅が多い	△
	液状化	有	可能性(大)	○	地盤改良による沈下量低減	日影・通風 影響あり	△
評価				×			×

3) アピアさつき敷地 (右山五月町 A=7, 300 m²)

【標高約6m：現地盤/嵩上げ Type】

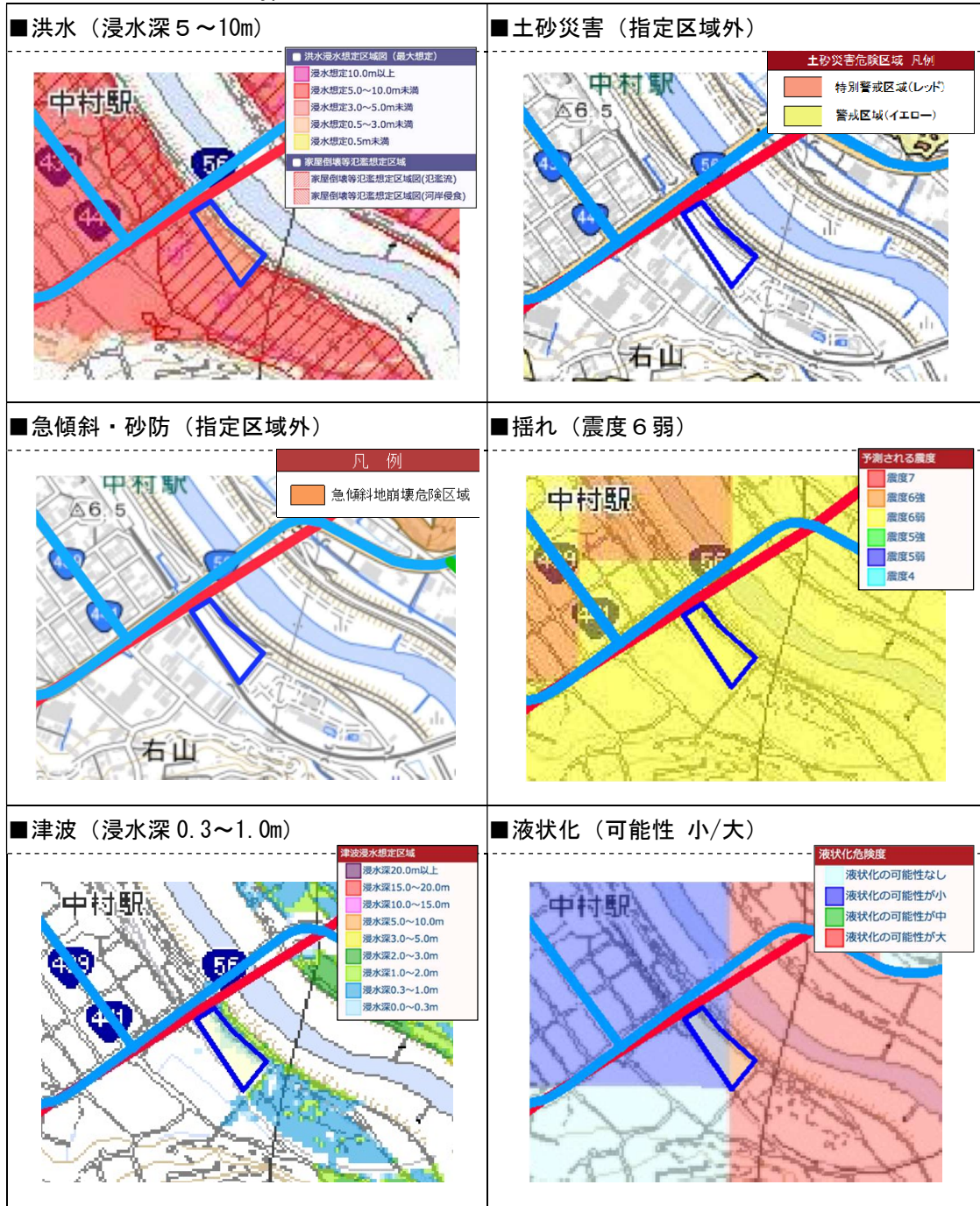


【評価】

起因	種別	災害リスク/対策			周辺環境等		
		被害想定	想定内容	対策	種別	内容	評価
風水害	洪水	有	浸水深5~10m	×	土地利用から嵩上困難	接続道路 洪水浸水の対策困難	×
	土砂	有	警戒区域(イエロー)	○	擁壁、法枠等で解消	通学路 主要な通学路ではない	○
	急傾斜・砂防	—	※急傾斜危険区域隣接	—	※対策検討	上水道 接続可(H1VP φ200)	○
地震災害	揺れ	有	最大震度6弱	○	構造計算による安全性確保	下水道 接続可	○
	津波	—	—	—	—	騒音 事業所・住宅が多い	△
	液状化	有	可能性(中)	○	地盤改良による沈下量低減	日影・通風 影響あり	△
評価				×			×

4) 下水処理場未利用地 (右山 A=11,600 m²)

【標高約6m：嵩上げType】

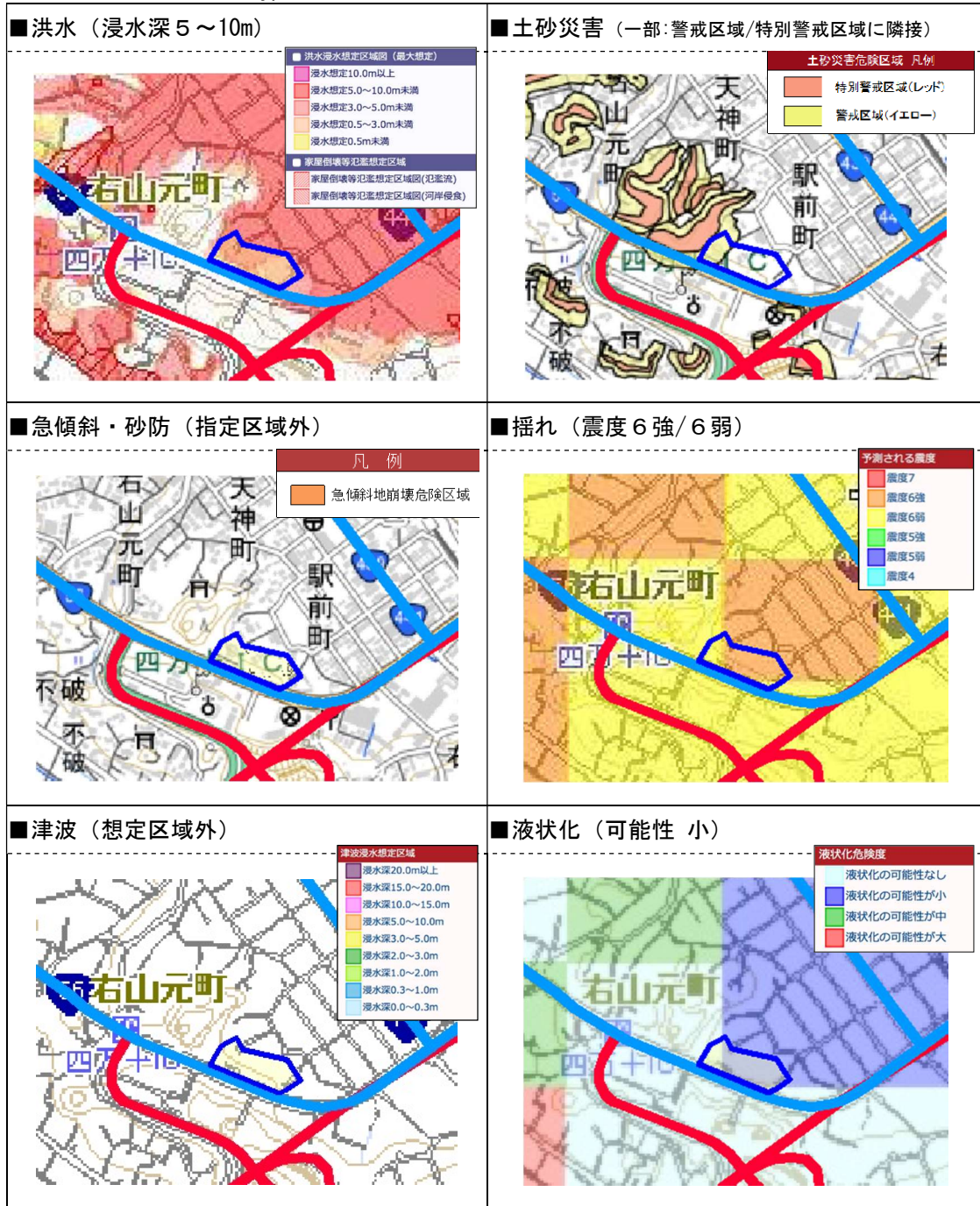


【評価】

起因	種別	災害リスク/対策				周辺環境等		
		被害想定	想定内容	対策	対策内容	種別	内容	評価
風水害	洪水	有	浸水深5~10m	○	嵩上盛土で解消	接続道路	被害想定なし(迂回路複数)	○
	土砂	-	-	-	-	通学路	主要な通学路ではない	○
	急傾斜・砂防	-	-	-	-	上水道	接続可 (DCPφ100)	○
地震災害	揺れ	有	最大震度6弱	○	構造計算による安全性確保	下水道	接続可	○
	津波	有	浸水深0.3~1.0m	○	嵩上盛土で解消	騒音	住宅が比較的少ない	○
	液状化	有	可能性(小)/(大)	○	盛土による沈下量低減	日影・通風	影響なし	○
評価				○				○

6) 国土交通省前敷地① (右山 A=7, 100 m²)

【標高約7m：嵩上げType】

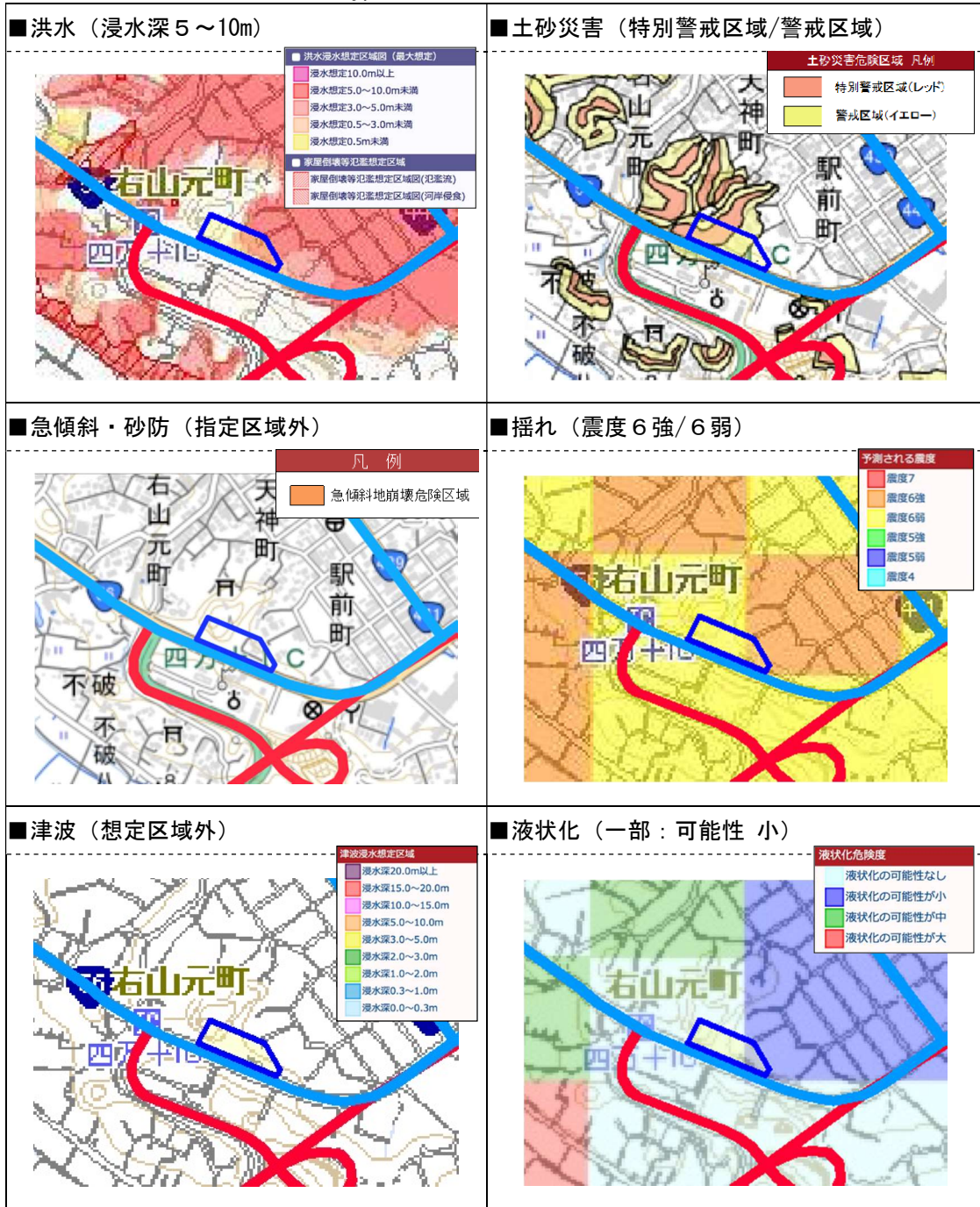


【評価】

起因	種別	災害リスク/対策				周辺環境等		
		被害想定	想定内容	対策	対策内容	種別	内容	評価
風水害	洪水	有	浸水深5~10m	○	嵩上盛土で解消	接続道路	被害想定なし(迂回路複数)	○
	土砂	有(一部)	警戒区域(イエロー) ※特別警戒区域(レッド)隣接	○	擁壁、法枠等で解消	通学路	主要な通学路ではない	○
	急傾斜・砂防	—	—	—	—	上水道	接続可(DCIP φ75)	○
地震災害	揺れ	有	最大震度6強/6弱	○	構造計算による安全性確保	下水道	接続可	○
	津波	—	—	—	—	騒音	住宅が比較的少ない	○
	液状化	有	可能性(小)	○	盛土による沈下量低減	日影・通風	影響なし	○
評価				○				○

7) 国土交通省前敷地② (右山 A=7,750 m²)

【標高約 40m : 切下げ/嵩上げ Type】

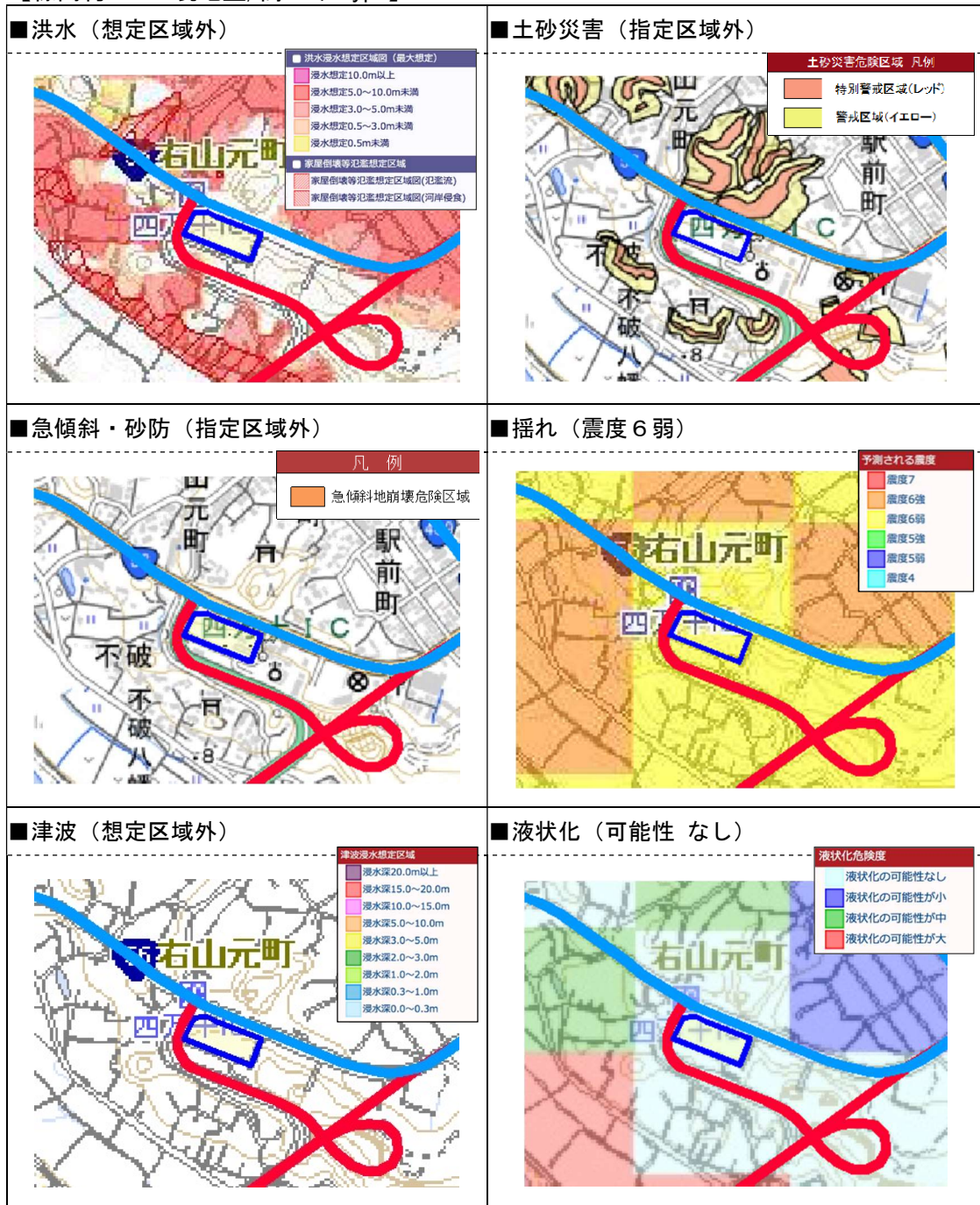


【評価】

起因	種別	災害リスク/対策				周辺環境等		
		被害想定	想定内容	対策	対策内容	種別	内容	評価
風水害	洪水	有	浸水深5~10m	○	嵩上盛土で解消	接続道路	被害想定なし(迂回路複数)	○
	土砂	有	特別警戒区域(レッド) 警戒区域(イエロー)	○	擁壁、法枠等で解消	通学路	主要な通学路ではない	○
	急傾斜・砂防	-	-	-	-	上水道	接続可(DCIPφ75)	○
地震災害	揺れ	有	最大震度6強/6弱	○	構造計算による安全性確保	下水道	接続可	○
	津波	-	-	-	-	騒音	住宅が比較的少ない	○
	液状化	有(一部)	可能性(小)	○	盛土による沈下量低減	日影・通風	影響なし	○
評価				○				○

8) 丸亀製麺ほか敷地 (右山 A=7,400 m²)

【標高約 20m : 現地盤/嵩上げ Type】

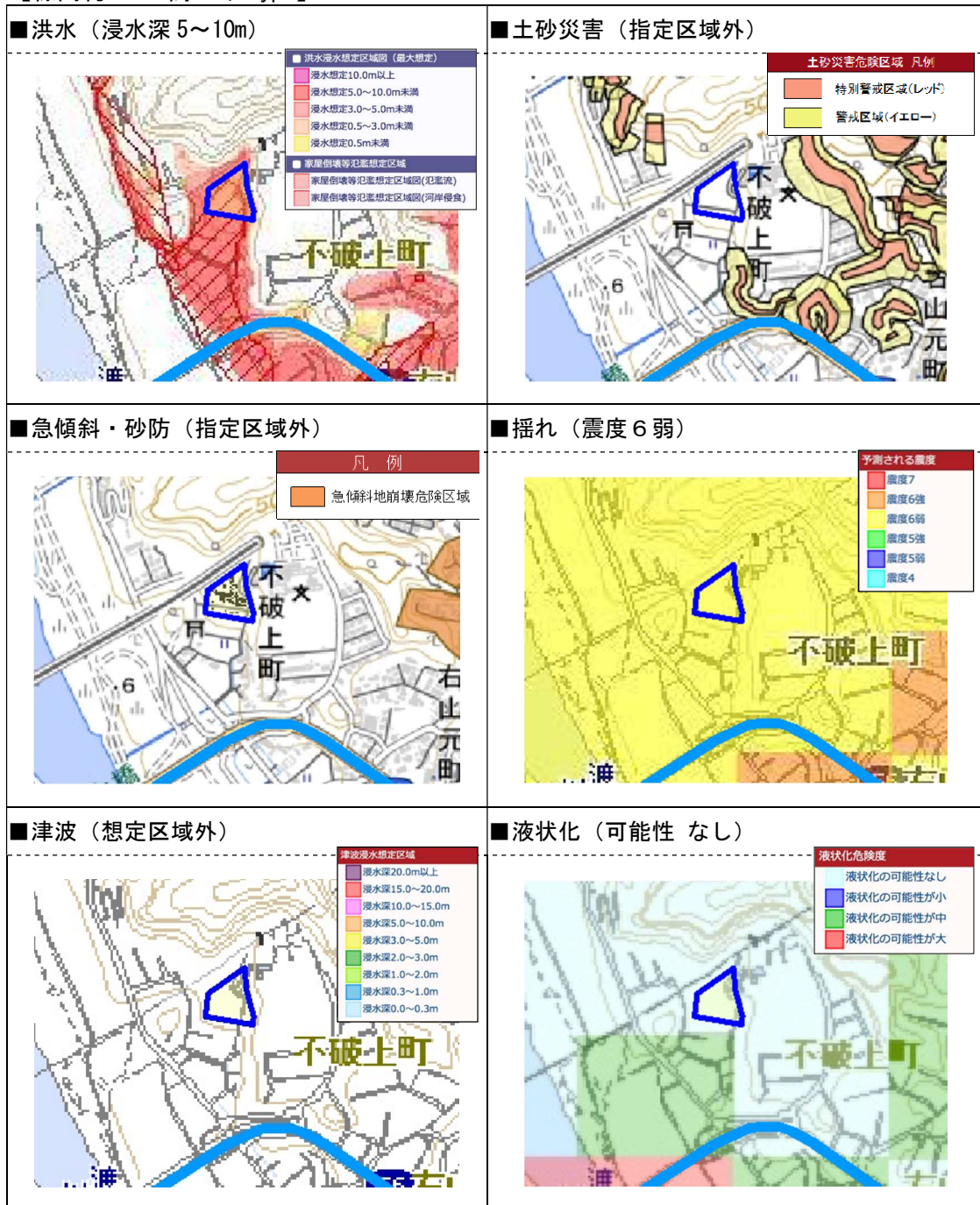


【評価】

起因	種別	災害リスク/対策				周辺環境等		
		被害想定	想定内容	対策	対策内容	種別	内容	評価
風水害	洪水	-	-	-	-	接続道路	被害想定なし(迂回路複数)	○
	土砂	-	-	-	-	通学路	主要な通学路ではない	○
	急傾斜・砂防	-	-	-	-	上水道	接続可(DCIPφ75)	○
地震災害	揺れ	有	最大震度6弱	○	構造計算による安全性確保	下水道	接続可	○
	津波	-	-	-	-	騒音	住宅が比較的少ない	○
	液状化	-	-	-	-	日影・通風	影響なし	○
評価				○				○

9) 中村南小学校隣接地① (不破 A=9,800 m²)

【標高約9m：嵩上げ Type】

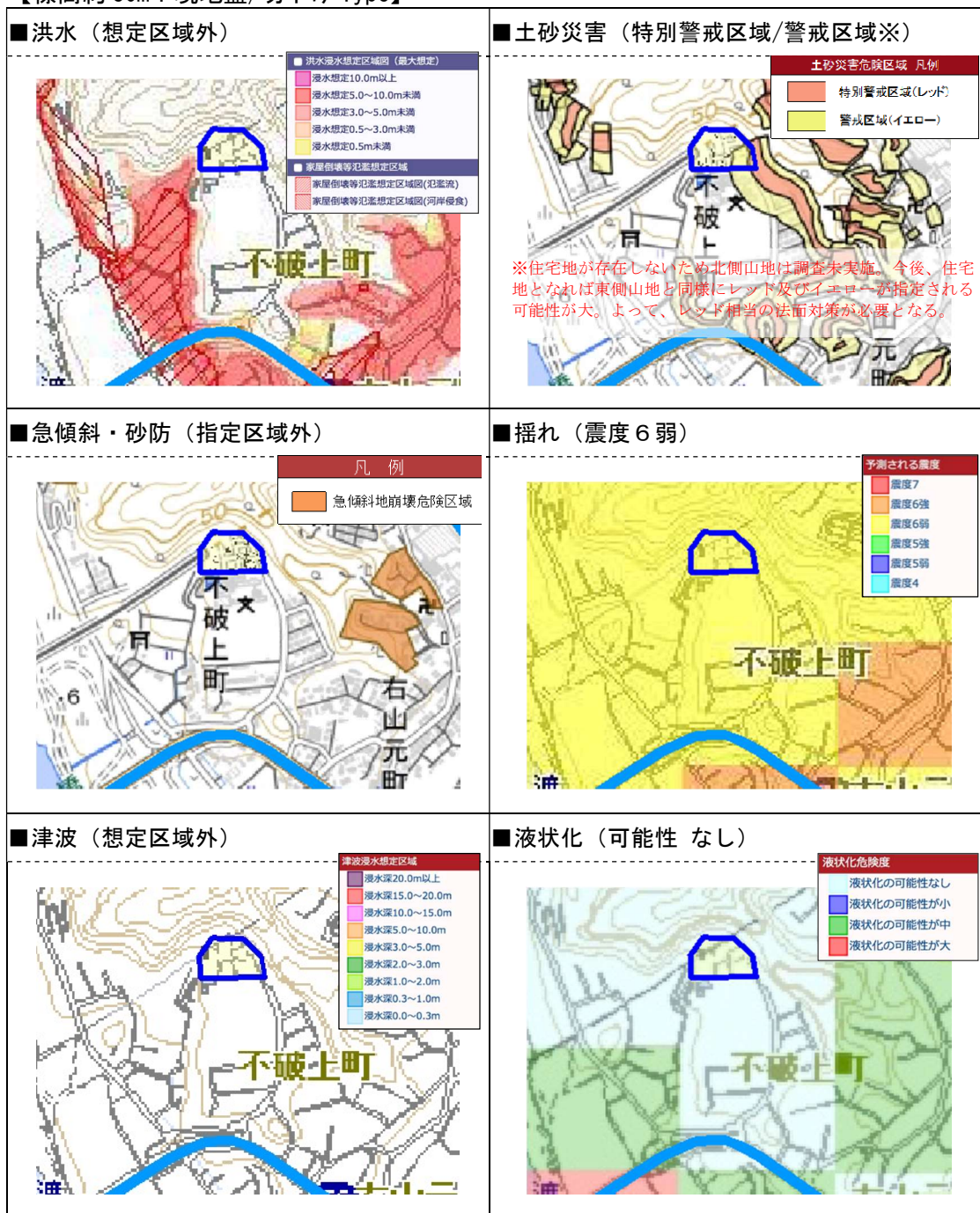


【評価】

起因	種別	災害リスク/対策				周辺環境等		
		被害想定	想定内容	対策	対策内容	種別	内容	評価
風水害	洪水	有	浸水深5~10m	○	嵩上盛土で解消	接続道路	洪水浸水により連絡道を新設 特別警戒区域(レッド)対策	△
	土砂	-	-	-	-	-	-	-
	急傾斜・砂防	-	-	-	-	通学路	主要な通学路	△
地震災害	揺れ	有	最大震度6弱	○	構造計算による安全性確保	上水道	接続可(HVP φ75)	○
	津波	-	-	-	-	下水道	接続不可(浄化槽)	△
	液状化	-	-	-	-	騒音	小学校隣接、住宅が多い	△
	評価			○		日影・通風	影響あり	△

10) 中村南小学校隣接地② (不破上町 A=7, 200 m²)

【標高約 30m : 現地盤/切下げ Type】



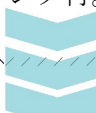
【評価】

起因	種別	災害リスク/対策				周辺環境等		
		被害想定	想定内容	対策	対策内容	種別	内容	評価
風水害	洪水	—	—	—	—	接続道路	特別警戒区域(レッド)対策	△
	土砂	有	特別警戒区域(レッド) 警戒区域(イエロー)	○	擁壁、法枠等で解消	通学路	主要な通学路	△
	急傾斜・砂防	—	—	—	—	上水道	接続可(DCIP φ75)	○
地震災害	揺れ	有	最大震度6弱	○	構造計算による安全性確保	下水道	接続可	○
	津波	—	—	—	—	騒音	小学校に隣接、住宅が多い	△
	液状化	—	—	—	—	日影・通風	影響あり	△
評価		○				△		

(5) 第4次スクリーニング(評価基準:事業費比較/用地確保の実現性/職員ヒアリング)

第3次スクリーニング結果6箇所について、「用地・補償費、造成費、建築費などの費用」及び「用地確保の実現性」を評価基準とし、第4次スクリーニングにてランク付するとともに、実際に業務（出動）を行う「職員ヒアリング」から、「円滑な業務（出動）遂行と安全性」等への支障が懸念される候補地を除いた4箇所の中から最終候補地を定めた。

【評価の方法・手順】

基準の分類	評価内容		
概算事業費の比較	1位（安価）～6位（高価）		
	用地補償費	造成費	本体工事費
	<<用地>> ・土地:市場調査 <<補償>> ・建物:同等建物参考 ・営業:市場調査 ・解体撤去:市場単価	・切土 (敷地造成、周囲山腹保護等) ・擁壁/法面保護 ・切土～敷均し締固め ・盛土～締固め ・道路整備 ・諸経費 土の搬入が必要な候補地は、高規格道路事業の残土を利用するため土の搬入および敷均しは本事業に含まない。	・建築工事 (庁舎、訓練棟、自家用給油施設) ※外構工事は除く ・杭工事 ・液状化対策工事 ・浄化槽工事 ・諸経費
用地確保の実現性	1位（容易）～6位（困難）※同順位もある		
	現状の土地利用や制限、補償対象となる建物等の状況を総合的に判断しランク付。（地権者への相談は皆無）		
			
> 「 <u>概算事業費の比較</u> 」と「 <u>用地確保の実現性</u> 」順位の平均値でランク付。			
> 実際に業務（出動）する <u>四万十消防署消防隊（消防士長以上）20名にヒアリング</u> し、6候補地のなかで「円滑な業務（出動）遂行と安全性」等への支障が懸念される候補地を除く。			
1位 :今後、地権者への相談(交渉)や関係機関との協議等を経て、具体的な調査、測量・設計業務に着手する候補地			
2位～ :上位候補地で協議、調整、交渉等が整わなかった場合の予備候補地			

【概算事業費の比較】※印:各候補地を現地調査し、拡張可能な敷地は面積増とする

番号	候補地	造成	面積 (㎡)	概算事業費 (単位:百万円)				
				用地補償費	造成費	本体工事費	合計	順位
4	下水処理場未利用地	嵩上げ	※ 11,915	136	251	1,635	2,022	1
6	国土交通省前敷地①	嵩上げ	※ 8,350	738	692	1,480	2,910	5
7	国土交通省前敷地②	切下げ/ 嵩上げ	※ 8,420	554	1,112	1,451	3,117	6
8	丸亀製麺ほか敷地	現地盤/ 嵩上げ	7,400	914	27	1,451	2,392	4
9	中村南小学校隣接地①	嵩上げ	※ 14,700	422	253	1,546	2,221	2
10	中村南小学校隣接地②	現地盤/ 切下げ	8,580	202	571	1,451	2,224	3

【用地確保の実現性/総合評価】

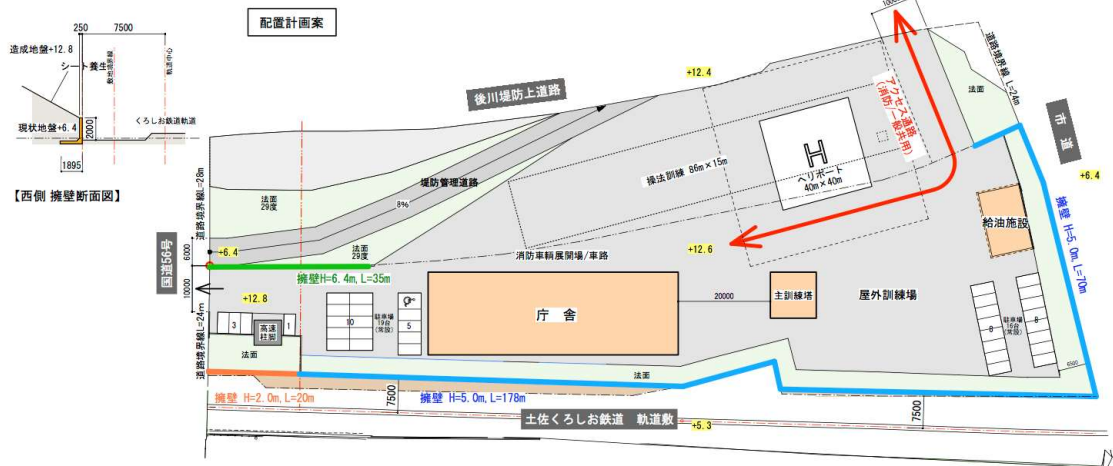
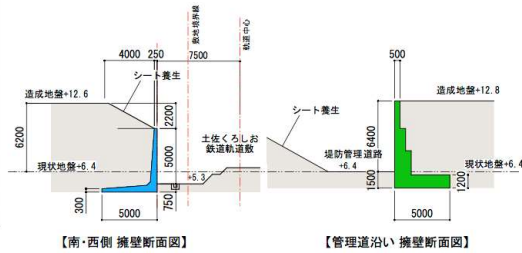
番号	候補地	評価	順位	平均順位	総合順位
4	下水処理場未利用地	市有地のため用地確保(交渉)が容易。	1	1	1
6	国土交通省前敷地①	大規模な事業所があり、用地・補償の見通しは不透明。	4	4.5	4
7	国土交通省前敷地②	大規模な事業所があり、用地・補償の見通しは不透明。	4	5	5
8	丸亀製麺ほか敷地	店舗2棟と集合住宅があり、用地・補償の見通しは最も不透明。	6	5	5
9	中村南小学校隣接地①	農地であり、用地確保(交渉)は比較的容易。	2	2	2
10	中村南小学校隣接地②	果樹園(雑種地)であり、用地確保(交渉)は比較的容易。しかし、土佐くろしお鉄道の地上権が設定されているので、土地利用に大きな制約がある。	3	3	3

【配置計画(案)】

4) 下水処理場未利用地：嵩上げ Type (右山 A=11,915 m²)

敷地利用面積表

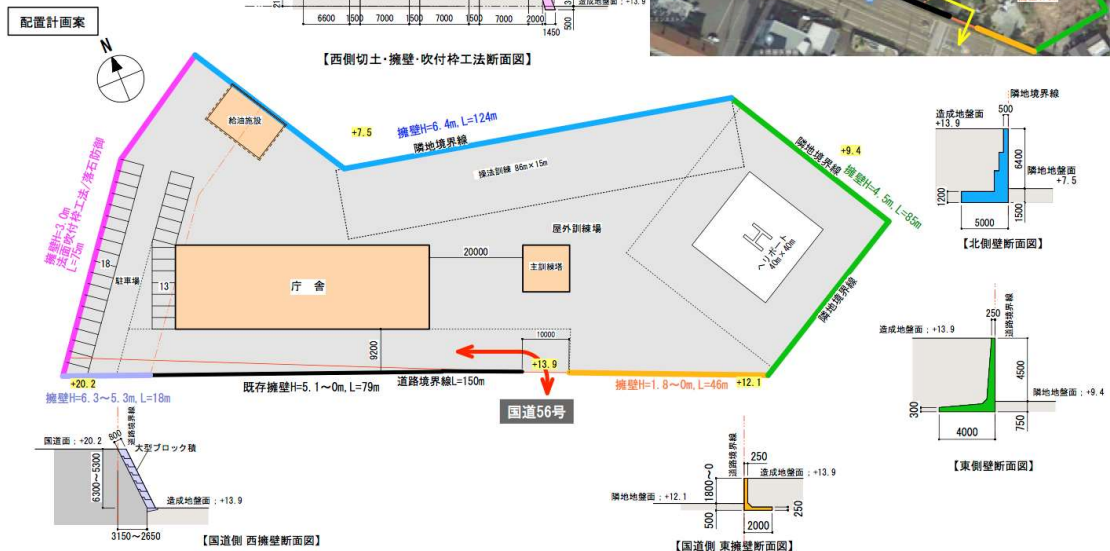
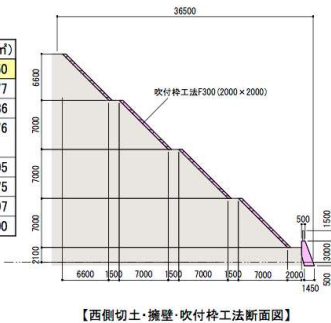
区分	面積 (m ²)
候補地面積	11,915
利用可能面積	8,941
庁舎 (主訓練塔共、建築面積)	1,077
給油施設 (建築面積)	136
屋外訓練場 (操法訓練場含む) (受援スペース 4,000m ² 相当)	3,579
駐車場 (常設19台+16台)	906
駐車場 (非常招集時15台増)	188
アクセス通路 (HP重機を除く)	429
車両展開場、斜路、災害時	1,011
ヘリポート	1,600



6) 国土交通省前敷地①：嵩上げ Type (右山 A=8,350 m²)

敷地利用面積表

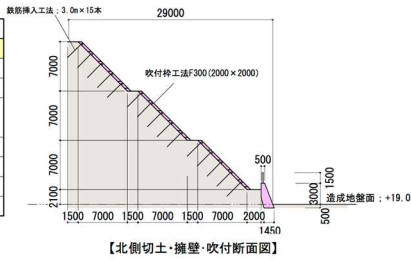
区分	面積 (m ²)
候補地面積	8,350
庁舎 (主訓練塔共、建築面積)	1,077
給油施設 (建築面積)	136
屋外訓練場 (操法訓練場含む) (受援スペース 4,000m ² 相当)	3,576
駐車場 (常設30台)	695
駐車場 (非常招集時20台増)	375
車両展開場、車路	897
ヘリポート	1,600



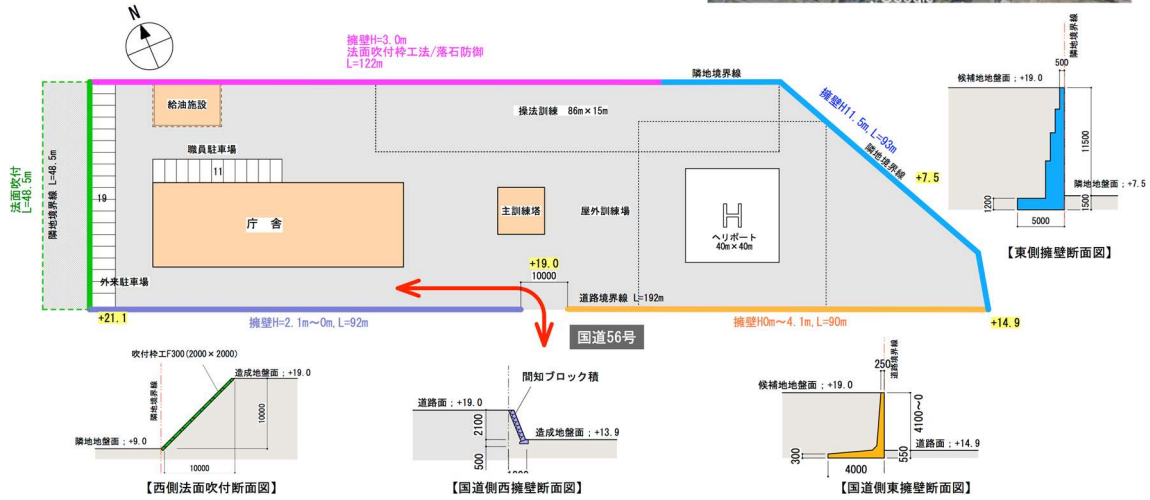
7) 国土交通省前敷地②：切下げ/嵩上げ Type (右山 A=8,420 m²)

敷地利用面積表

区分	面積 (m ²)
候補地面積	8,420
庁舎 (主訓練塔共、建築面積)	1,077
給油施設 (建築面積)	136
屋外訓練場 (操法訓練場含む) (受援スペース 4,000m ² 相当)	3,652
駐車場 (常設30台)	784
駐車場 (非常招集時20台増)	375
車両展開場、車路	796
ヘリポート	1,600



配置計画案



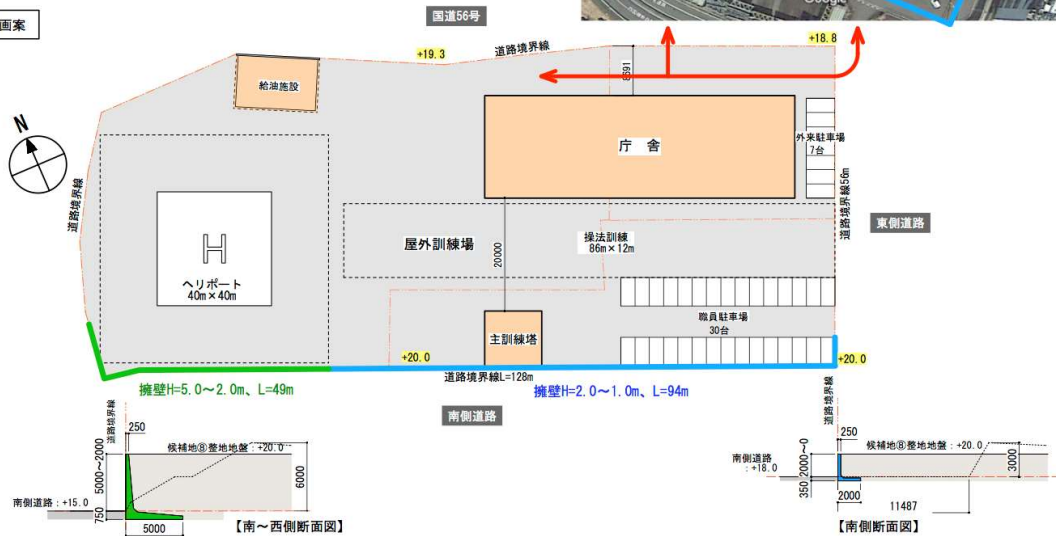
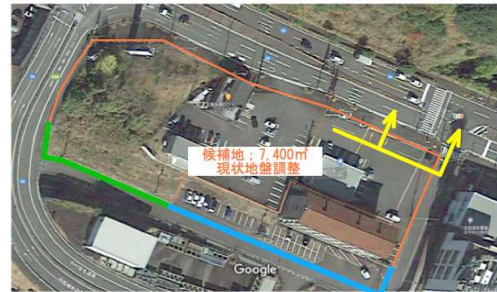
8) 丸亀製麺ほか敷地：現地盤/嵩上げ Type (右山 A=7,400 m²)

敷地利用面積表

区分	面積 (m ²)
候補地面積	7,400
庁舎 (主訓練塔共、建築面積)	1,077
給油施設 (建築面積)	136
屋外訓練場 (操法訓練場含む) (受援スペース 4,000m ² 相当)	3,136
駐車場 (常設37台)	707
駐車場 (非常招集時13台増)	244
車両展開場、車路	500
ヘリポート	1,600

※ 四周道路のため、用地拡張は困難

配置計画案

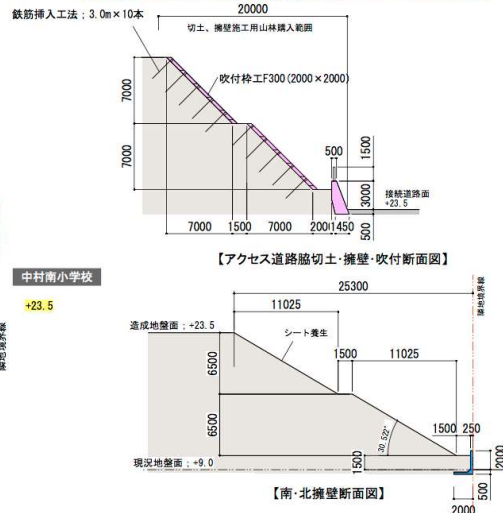


9) 中村南小学校隣接地①：嵩上げ Type (不破 A=14,700 m²)

敷地利用面積表

区分	面積 (m ²)
候補地面積	14,700
利用可能面積	8,650
庁舎 (主訓練塔共、建築面積)	1,077
給油施設 (建築面積)	136
屋外訓練場 (操法訓練場含む) (受援スペース 4,000m ² 相当)	3,701
駐車場 (常設30台)	862
駐車場 (非常招集時20台増)	375
車両展開場、車路	899
ヘリポート	1,600

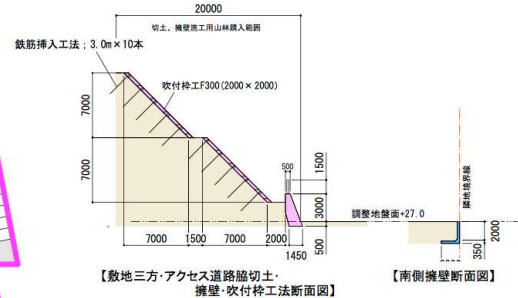
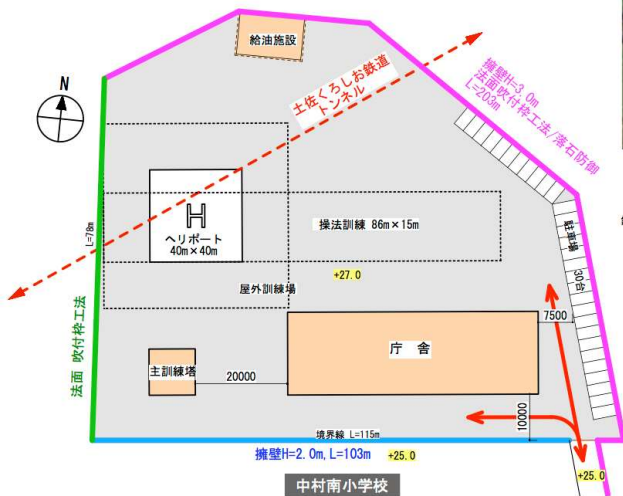
配置計画案



10) 中村南小学校隣接地②：現地盤/切下げ Type (不破 A=8,580 m²)

区分	面積 (m ²)
候補地面積	8,580
庁舎 (主訓練塔共、建築面積)	1,077
給油施設 (建築面積)	136
屋外訓練場 (操法訓練場含む) (受援スペース 4,000m ² 相当)	3,753
駐車場 (常設30台)	756
駐車場 (非常招集時20台増)	375
車両展開場、車路	883
ヘリポート	1,600

配置計画案



【職員ヒアリング:結果】

実際に業務（出動）する四万十消防署消防隊（消防士長以上）20名にヒアリングし、以下6候補地のなかで「円滑な業務（出動）遂行と安全性」等への支障が懸念される候補地2箇所を除く。

青:災害リスク 黒:アクセス性、周辺環境

番号	候補地	安全性の懸念 (複数回答可)	懸念する理由	対策等	評価
4	下水処理場未利用地	4人	<ul style="list-style-type: none"> 洪水 津波 液状化 ・通常業務時に国道56号を右折できない	<ul style="list-style-type: none"> 現地盤嵩上げによる安全確保 建物は杭基礎で地下の強固な地盤によって支持 液状化(小)は盛土にて影響緩和 液状化(大)は地盤改良 通常業務は複数ある迂回路を利用(緊急車両は出動時、帰庁時に右折可能) 	○
6	国土交通省前敷地①	5人	<ul style="list-style-type: none"> 洪水 土砂災害 液状化 	<ul style="list-style-type: none"> 現地盤嵩上げによる安全確保 擁壁/法面工の土砂災害対策 建物は切土部に直接基礎で支持 液状化(小)は盛土にて影響緩和 	○
7	国土交通省前敷地②	5人	<ul style="list-style-type: none"> 洪水 土砂災害 液状化 	<ul style="list-style-type: none"> 現地盤嵩上げによる安全確保 擁壁/法面工の土砂災害対策 建物は切土部に直接基礎で支持 液状化(小)は盛土にて影響緩和 	○
8	丸亀製麺ほか敷地	2人	<ul style="list-style-type: none"> 出動経路が右左折を繰り返し複雑化 	<ul style="list-style-type: none"> 上り車線(右折)への出動時渋滞を考慮し、既存交差点を利用した出動を想定 下り車線(左折)へは直接国道に出ることは可能 ※他候補地も同様に前面道路への出入り口は1ヶ所。敷地が広くなると必然的に敷地内を走行することになる。 	○
9	中村南小学校隣接地①	19人	<ul style="list-style-type: none"> 洪水 土砂災害 液状化 <ul style="list-style-type: none"> 主要道路まで距離があり、曲がりも多い 国道進入の見通しが悪い 主要な通学路 サイレン(騒音)が学校、周辺住宅に影響 	<ul style="list-style-type: none"> 現地盤嵩上げによる安全確保 擁壁/法面工の土砂災害対策 液状化の可能性なし 建物は杭基礎で地下の強固な地盤によって支持 他候補地に比べ、直接国道にアクセスできないが、上り車線(左折)へのアクセスの見通しは問題ない。下り車線(右折)は一度不破に降りての転回が必要で見通しも悪い(カーブのため中央分離帯の撤去は困難) 通学路の安全確保、騒音等の対策は非常に難しい 	×
10	中村南小学校隣接地②	18人	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害 <ul style="list-style-type: none"> 主要道路まで距離があり、曲がりも多い 国道進入の見通しが悪い 主要な通学路 サイレン(騒音)が学校、周辺住宅に影響 	<ul style="list-style-type: none"> 擁壁/法面工の土砂災害対策 他候補地に比べ、直接国道にアクセスできないが、上り車線(左折)へのアクセスの見通しは問題ない。下り車線(右折)は一度不破に降りての転回が必要で見通しも悪い(カーブのため中央分離帯の撤去は困難) 通学路の安全確保、騒音等の対策は非常に難しい 	×

(6) 建設候補地の選定

第1次～第4次までの評価基準を設定した上、スクリーニングした結果、最終候補地として次のとおり選定したうえ、関係機関との調整・協議を行う。

【最終選定結果：一覧】

番号	移転候補地	造成	面積(m ²)	最終選定 (順位)
4	下水処理場未利用地	嵩上げ	11,915	1
6	国土交通省前敷地①	嵩上げ	8,350	2
7	国土交通省前敷地②	切下げ/嵩上げ	8,420	3
8	丸亀製麺ほか敷地	現地盤/嵩上げ	7,400	3

【最終選定結果：位置図】

